

ホームページ制作のポイント

よく質問をいただきますので作成しました。

「ホームページに訴求効果があると思いますか？」とお聞きすると

「ホームページなんて効果がないよ。」とよく返ってきますが、そんなことは、絶対にありません。

これは、おそらくホームページが、単なる名刺代わりで
「ああ ホームページを作ったんだ。」で終わってしまっています。

ただ単に、キレイな写真を多数掲載しても、見栄えが良くても効果はありません。自己満足なだけです。閲覧者のことは考えないで、技術押し売り、依頼者のためだけに作ったようなホームページをよく見かけます。こういうホームページに限って、重たくて表示に時間がかかり、画面が複雑で無駄が多く、パソコンに詳しくない人には、画面操作が難しいのが多い。これは、完全に逆効果で、その場から去ってしまうこともあります。

- クリエイター、デザイナーが制作しても、個人が作っても 内容、更新頻度が良ければ問題なし？

今は、高機能のホームページ制作ソフトやCMS、オーサリングソフトがありますから、多少パソコンの知識があれば、個人でも簡単に動画などを使ったホームページやコンテンツなど、作ることはできます。しかし、それだけでは、本当のウェブサイトとして足りない部分が多くあります。

— 本当のプロのお仕事とは、画面に見えない部分に要素があります。 —

「規則に沿ったマークアップ言語（SEO対策の原点）でコーディングしているか。」

「各種のOS、ブラウザでも表示は同じであるか。」

「閲覧者を満足、納得させる、訴求効果を考慮したデザイン レイアウトであるか。」

「ターゲット層を意識し、サイトの持ち味を出し切れているか。」

「サーチエンジン対策（SEO）は、できているか。」

「誰にでも、更新がスムーズにできるように制作しているか。」

「更新の指導、サポート体制が整っているか。」

「依頼者の言いなりになっていないか。」

などです。

- ホームページは、情報を随時、提供するものですから自身で更新するのが理想です。

ホームページで成功しているところは、更新を確実にやっています。

とにかく、回りの人にホームページを定期的に見てくれるリピーターになってもらうことが大切です。

そして、印象に残してもらうことです。

だからこそ、チラシやタウン誌に広告掲載するように、定期的に、キャンペーンや催しものを実施して、その内容を更新していくことです。催しものがなかったらブログのように近況報告でもかまいません。

とにかく更新して新しい情報を提供し、印象に残してもらうことによって集客、顧客確保に繋がるのです

次へ http://design-heart.net/info/pdf/answer_2.pdf